

令和元年度

小・中学生フォーラム in 落合第三小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月12日（金）、落合第三小学校（西落合1-12-20、校長：新井正一）の6年1組32名、2組31名が、「故郷落合の今・これから～わたしたちの力で創り上げよう～」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、各クラス代表の児童が「地域の安心・安全」「歴史ある楽しい地域」について、地域の現状や今後地域を良くしていくための方法などについて、事前に調べたことをもとに発表しました。その中で、地域の安心・安全については「不審者対策を呼びかけるポスターを作る」「犯罪が起きやすい場所のマッピングをする」「街路樹の手入れをする」「学校での不審者訓練の回数を増やす」、地域の歴史については「地域の歴史を紹介するパンフレットを作って区役所に置く」「新しい地域行事をつくる」といった意見が出ました。

区長からは、「地域を良くしていくには、まず地域に関心を持つことが大事。今も町会ではパトロールなどを行っているが、皆さんのところまで広まっていないのかもしれない。小学生だとできることは限られているだろうが、大人になってからでも、町会の手伝いに参加してくれると嬉しい。また、落合第二地域センターに地域の歴史をまとめた資料や展示があるので、見てもらえると、記録を残した人も喜ぶだろう」と話がありました。

児童たちは、区長とやりとりする中で、自分の住む地域が今どうなっているか、どうしたら良くなっていくかを考えるきっかけとなり、有意義なフォーラムとなりました。

